

B-3 「志雄タイムノート」の活用

「総合的な学習の時間」においては、生徒が自ら学ぶという意味で、学習資料が重要な役割を担っている。本校では、これまでも課題発見・課題設定場面における共通体験として、また、課題解決・探究活動場面での学習教材の発掘や人材の活用という形で多様な学習資料を提示してきた。この「志雄タイムノート」においても以下のような視点で工夫し、活用していきたい。

1点目は、生徒に身に付けさせたい力を育成させるために、教師は必要に応じてその学習内容で必要な「目のつけどころ」や「着眼点」などを生徒に提示する必要がある。その中でも、生徒がこれらの必要性に気づき、活用したり他に応用したりできるようにすることを目指したい。そのためには示した内容がその時間だけに示されるのではなく、教師が意図的に繰り返し提示していくものとしたい。

2点目は、生徒が課題解決を図っていく上で、多様な学習資料を通して自分の発見したことをまとめ、興味・関心を整理し、自分の考えを絞り込むことができるようにすること。また、得た学習内容から広がりや深まりにつながられるものでもあること。これらのことをふまえて自らの学習の積み重ねが整理できるものとしたい。

3点目は、ポートフォリオ評価の資料として活用し、フィードフォワード効果をあげられるものとしたい。